

類似自治体の文化ホール想定席数検討の事例と興行目的に適したホール席数について

<類似自治体の文化ホール想定席数検討の事例>

愛媛県伊予市（人口 38,800 人）

■施設概要（伊予市市民会館）

- ・昭和 41 年 3 月竣工
- ・建物構造：鉄筋コンクリート造 4 階建て（うち 2 階は行政事務所）
- ・延床面積：2,409 m²（うち 2 階 585.04 m²は行政事務所）
- ・主な諸室と収容人数：大ホール（606 席）、1 階会議室（70 m²）、1 階応接室（42 m²）、3 階第 5 会議室（54 m²、40 人）、4 階第 6 会議室（198 m²、120 人）、3 階第 7 会議室（84 m²、26 人）、3 階和室（24 畳 30 人）

■大ホール過去 10 年の利用状況（平均値）

利用件数：36 件・利用人数：10,500 人・1 件当たり：303 人・稼働率：10%

■文化ホール建設に関するアンケート集計結果報告書（平成 23 年 10 月実施）

（1）施設の特徴

市民は主にコンサートや演劇公演の鑑賞が望ましいというのに比べ、団体においては、日頃の練習・育成や発表の場として利用したいという違いが見られました。

（2）文化ホールの規模

市民、団体共に 1,000 席未満の要望が 7 割～8 割以上を占め、特に 600～999 席規模のホールが、市民 163 件（48.7%）、団体 48 件（55.8%）となっています。

■想定客席数

現在の市民会館の客席数は 606 席であり、アンケート集計結果でも「600～999 席」を望む声が多く見られます。

一方、市民会館大ホールの過去 10 年の 1 件当たり利用人数は 220～350 人であり、比較的少人数での利用が多いことが分かります。

本建設検討委員会委員による規模の想定では「300～599 席」が望ましいという声が 57.9%と高く、「600～999 席」は 26.3%となっています。市が運営するイベントの聞き取りではおおむね 400 人規模での利用が想定範囲となっています。

このことから、市のイベントの利用状況並びに実際の利用者数の実情を踏まえ、本検討委員会としては「300～599 席」を基準とした想定で検討を進めることとします。ただし、今後基本計画や基本設計において、市民の意見を加味することにより、市民の利用ニーズに合った客席数を検討することとします。

【参考事例：伊予市文化ホール建設検討報告書】を一部抜粋

<興行目的に適したホール席数>

自治体が検討委員会・基本構想等で検討しているのを見ると、各興行における採算ラインを概ね 1,500 人～2,500 人程度としていることがわかった。（静岡市・北九州市・上田市・多賀城市・熊本市等を参考）